

2024年10月31日

ECC 学園高等学校 学校関係者評価委員会 報告書

学校法人山口学園 ECC 学園高等学校関係者評価委員会は、2024年9月21日に「2023年度自己評価報告書」に基づいて、学校関係者評価委員会を実施しましたので、報告いたします。

学校法人 山口学園
ECC 学園高等学校
学校関係者評価委員会

開催日時:2024年9月21日(土)

時間:11:00~13:00

場所:山口学園本部 大会議室

参加者:

- 地域(高島市)関係者1名 北村 一博(興亜繊維工業(株))
- 教育関係者1名 幸 美砂子(大津市教育支援センター)
- 保護者2名 西谷 幸二 中田 郁充
- 卒業生2名 筒井 優誠 長嶺 侑璃
- 学校関係者:5名 学校長 下澤 辰次
教頭 西田雄哉
教務主幹 箕倉朋美
大阪学習センター長 梶野 茂
生徒募集責任者 小原 雅弘

1. 開会の挨拶

(下澤) (株)ECC から学校法人山口学園へ設置者変更経緯を説明。これまでの教育実績を紹介し、今後の学校運営においても生徒の「生きていく力」の育成を目指していく旨を述べた。

2. 2023年度学校自己評価

(西田) 2023(令和5)年度自己評価報告書に基づき、概要説明および課題点の共有、各委員様からの意見・質疑応答の形式で議事を進行した。

教育活動

- 学力の向上

(長嶺) 通信スタイルと通学スタイルのレポート指導の相違点に対して意見。

(筒井) スクーリングを通して朝の習慣が身についたことを評価。

(中田) スクーリングの経験が自立に役立っていることを評価。

- 質の確保

(幸) 毎日登校していない生徒が多いので質の確保は難しい。学習できていない生徒を引き上げるのが難しいと思うが、どんな工夫をしているか？

(箕倉) 単位修得に関しては文科省のガイドラインに則している。学力不安が大きい生徒は家庭と連携してサポートしている。

生徒指導

- 生活指導

(中田) 教職員によるサポート体制に対して安心感があると評価。

(西谷) 保護者会の回数が減った点について懸念を示し、学校生活の情報共有の増加を希望。

(箕倉) 保護者会の頻度と情報発信に関して調整を行っていることを説明。

- 進路指導

(長嶺) 進路指導の充実を希望し、早期からの進路選択支援が必要と指摘。

(西谷) 高校生の頃、目標持てている人の方が少ない。特に通信生は高校卒業だけが目標になっている。難しい問題だと感じる。

(西田) 専門学校の就職指導のノウハウもあるので、その点を含めて進路指導を検討していきたい。

学校運営

- 教職員関係

(幸) 多様なコースが存在するため教員の負担が大きくなっている点について指摘。

(箕倉) 教員免許取得者の負担を軽減するための体制強化が課題であると説明。

- 環境整備

(筒井) 特に不満はなく、ZOOM 対応のサポートが充実していたと評価。

(箕倉) 京都学習センターでのオンライン学習対応についての事例を説明。

- 連携

(中田)

(西谷) 保護者同士の情報交換や交流の場が増えると安心感がある。

(北村) 地域連携(本校所在地の)棕川は遠い。ハードとしては良いが。遠いからありがたいと思えば良い。卒業して社会参加できている。すべてのことにこたえることはできないと思うが、追及して、明確に打ち出して、実施するのが良いと意見。

3. 2024 年度前期活動報告

(西田) 2024 年度の前期活動について説明。参加者からの質問や意見は特になし。

4. 2025 年度学校案内説明

(小原) 山口学園の各専門学校との連携による学びの強化計画について説明。「一人一人を大切に」「将来につながる好きなことが見つかる」をコンセプトとする活動内容を紹介。参加者からの質問や意見は特になし。

5. 全体総括

(筒井) 2025年度学校案内を見て羨ましい。相談室の利用が充実している点を評価。

(長嶺) (卒業後)知らない間に進化していて良かった。

(中田) 保護者の立場から学校運営への理解が深まり良かった。

(西谷) この場で発見できたことがあり良かった。

(幸) 外から見えていた学校がわかって学びになった。卒業生の生の声が聴けて良かった。いろんなところで卒業生には話してほしい。

(北村) 山口学園になって変化していることがわかった。引き続き学校運営かできることが大事。多様化している中、高島市でのスクーリングで行う意味が残ることができればいい。伝統校になって行って欲しい。

6. 閉会の挨拶

(下澤) 委員会でいただいた意見を今後の学校運営に反映していくことを約束し、委員会を閉会。

【今回の議事を踏まえて】

今回の学校関係者評価委員会でいただいた貴重なご意見をもとに、ECC 学園高等学校では2025年度のコース改編とともに教育内容のさらなる充実と改善に取り組んでまいります。

特に、個々の生徒の学びを支援する体制の強化、保護者への情報提供の拡充、進路指導の早期支援などを重点的に改善していきます。

学校法人山口学園のスケールメリットを活かした「将来につながる好きなことが見つかる学校」「一人ひとりを大切に作る学校」として選択していただけるよう、引き続き、委員の皆様からのご意見を積極的に取り入れ、今後の教育にも反映させてまいります。

以上